

読書活動だより

# むすぶ

第57号

平成29年11月24日発行  
秋田県教育庁生涯学習課  
社会教育・読書推進班

例年よりも冬將軍の訪れが早いですね。冬は、暖かい部屋で読書にこそ楽しむ楽しみがあります。皆さんはどんな本を読まれていますか。

平成29年度中学生及び高校生

## ビブリオバトル大会の県大会で

## チャンプ本が決定しました

ビブリオバトルとは、バトルと呼ばれる発表者が、それぞれおすすめの本の魅力を5分間で紹介し合い、参加者全員で、「一番読みたくなった本」(チャンプ本)を投票で決める知的書評ゲームです。本のおもしろさを共有し、読書のきっかけづくりとするための取組で、県大会でチャンプ本を獲得した、秋田南高等学校中等部2年生の菅原愛実さん(3月28日上智大学で全国大会)と、秋田南高等学校1年生の古谷涼風さん(1月28日早稲田大学で全国大会)が全国への切符を手に入れました。

11月3日(金)、高校生12名、中学生5名、一般3名が参加して、イオンモール秋田セントラルコートにおいて全県大会が開催されました。

午前は、A・Bグループに分かれて高校生の予選を行い、各グループから2名が決勝に進みました。午後は、中学生5名での決勝、一般3名のエキシビション、高校生の決勝と白熱したバトルが続きました。観客に質問したり、歌を歌ったりするパフォーマンスもあり、約200名の観客は固唾をのんで、プレゼンに聞き入っていました。

また、ゲストとして、秋田出身の元祖爆笑王さんと、インパルスの板倉俊之さんから読書に関するお話をいただいたほか、表彰式の際のプレゼンターを務めていただきました。秋の一日、本の魅力にたっぷり浸る有意義なイベントとなりました。



中高生のチャンプ・準チャンプ

### 全県大会で中学生が紹介した本

- ◎ 『カブキブ!』 著 榎田ユウリ
- 『たとえ明日、世界が滅びても今日、僕はリンゴの木を植える』 著 瀧森古都
- ・ 『見てる、知ってる、考えてる』 著 中島芭旺
- ・ 『マリアビートル』 著 伊坂幸太郎
- ・ 『「楽天力」を身につける10の法則』 著 植村聡

### 全県大会で高校生が紹介した本

- ◎ 『阪急電車』 著 有川浩
- 『浜村渚の計算ノート』 著 青柳碧人
- ・ 『世界から猫が消えたなら』 著 川村元気
- ・ 『ノーライフキング』 著 いとうせいこう
- ・ 『青の数学』 著 玉城夕紀
- ・ 『レインボー英和・和英辞典』 監修 羽鳥博愛
- ・ 『麦の上に沈む果实』 著 恩田陸
- ・ 『一生使える「敬語の基本」が身につく本』 著 井川明美
- ・ 『スマホを落としただけなのに』 著 志賀晃
- ・ 『ただ、それだけでよかったんです』 著 松村涼哉
- ・ 『ハーモニー』 著 伊藤計劃
- ・ 『カエルの楽園』 著 百田尚樹



# 県立学校の図書館を訪問しました



	<h2 style="text-align: center;">県立秋田中央高等学校</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生徒参加型の図書館掲示等、一人一人に寄り添った図書館運営</li> <li>◆地域のコミュニティと連携した活動</li> <li>◆多様な発信等、図書委員会の活動の充実</li> </ul>
--	---

中央高校の図書館で最初に迎えてくれたものは、ラグビー部員及び野球部員のお薦め本の展示と新聞記事でした。他にも、他校訪問をして交流した際の写真や、クラス対抗POPコンクールの展示等があり、生徒一人一人を生かした、魅力あふれる居心地のよい図書館でした。

また、国際教養大学を訪問して留学生と交流したり、古本市での本の売り上げを被災地の支援につなげる社会貢献活動を行ったりするなど、地域との連携が図られています。10月から11月にかけては、土崎図書館において中央高校の特別展示を行い、地域のコミュニティと連携した活動も充実させています。

今年度から県で開講している高校生の読み聞かせボランティア講座を受講し修了した生徒たちが、先日、近隣の子ども園に出向き、読み聞かせを行いました。このように、社会とのつながりを意識した発信が多岐にわたってなされている学校図書館です。



写真は左上から

- 「野球部員のお薦め本」「図書館を訪れた生徒の写真」
- 「中央祭での古本市」「土崎図書館での連携展示」
- 「A I Uの留学生との交流」「出戸子ども園での読み聞かせ」

	<h2 style="text-align: center;">県立秋田南高等学校、県立秋田南高等学校中部</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学習センター及び情報センターとしての機能の充実</li> <li>◆中学校と高等学校をつなぐ学校司書の役割</li> <li>◆中学生と高校生が切磋琢磨し読書イベント等に参加</li> </ul>
--	---

訪問した折、図書館では数人の中部部の生徒が勉強をしていました。何人かに話を聞かせてもらったところ、「グローバル」という言葉が奇しくも全員から発せられたことが印象的でした。

本校の図書館は、学習センター及び情報センターとして大変充実していると感じました。国語の教科等で中学校でも高校でも学習する平家物語の世界へ誘うダイナミックな展示に目を瞠りました。SGHコーナーや小論文対策の配架にも工夫が凝らされていましたが、何よりも驚かされたのは、生徒用、大人用(保護者)、先生用と3種類発行されている図書だよりです。先生用の図書だよりには、「前期の授業利用は計66.2時間でした」との記載があり、学校図書館の機能を十分に発揮しながら経営がなされていることを実感しました。

また、中学生と高校生がビブリオバトルの大会に向けてアドバイスをし合い切磋琢磨することによって、中高一貫校としてのパワーも感じることができました。



写真は左上から

- 「多様な図書だより」「ダイナミックな展示」
- 「SGHコーナー」小論文コーナー」
- 「連続でビブリオバトル大会に出場した生徒の熱弁」「県大会で中部生と高校生がダブルでチャンプ本獲得」